

震災で生まれた絆と友情

岩手県

又川 俊三



除に学ぶ会」が生まれました。

鍵山先生には、わが社の社員研修「感動大学」で2度講演いたしました。『鍵山秀三郎一日一話』『ムダな努力はない』『人間を磨く言葉』『凡事徹底一日一話』を隔年で社員に配り、朝礼で活用しました。これらの学びなくして、2025年に50周年を迎えるわが社はなかつたと思います。

2011年3月11日、東日本

大震災発生。仲間の家族や友人、勤め先や取引先などたくさんの方が犠牲となり、いまだ行方不明の方もおられます。

掃除に学ぶ会の皆さまには、お目にかかりました。衝撃的でした。それから私ども全員で、朝礼前の掃除を始めました。

1993年「日本を美しくする会」が発足、1996年「岩手掃

訪台しました。徐重仁理事長ご夫妻を岩手にお招きし、台湾と関わりの深かつた岩手の先人後藤新平や新渡戸稻造記念館を見学され、講演もお願いしました。

日台の絆と友情を発展させ、後世に伝えていくことは、私たちの責務と考えています。

陸前高田の、津波から残った一本松でバイオリンを作り、千人のバイオリニストが千の音色を奏でその思いを繋げています。2014年東京紀尾井ホールに上皇様ご夫妻をお迎えし、演奏を鍵山相談役とお聴きした感激は今も心深く残っています。

震災でのご支援と交流はとても多くあつて、書ききれません。本当にありがとうございます。

掃除を伝え続けたい

愛知県 大塚 久利



えてさらに気づき、いい変化が起
こります。身の回りがきれいにな
ると「心境が変わります。やれ
ばやるほど深くなります。

掃除をすると、仲間と「価値観
を共有」できます。自分のことよ
り、他人や公のことを考えるように
になります。掃除は世の中を良
くする大きな力になります。

掃除を知らない人、わかつて
くれる人は多くないです。でも
そういう方々に、「伝え続ける」
せん。本当にいいことを教えてい
ただきました。掃除が一番いい。

私は、自分が掃除をやつていな
かつたとすると怖くなります。
掃除をすると、「気づき」ます。
前回気づかなかつたことに気づ
きます。それが自分の内面に働
き、今まで見えなかつたものが見

日々掃除をしながら考えてい
ます。次世代の人に伝えたい、止
めたら終わりだ、種をまき続け
れば花は必ず咲くと…。

自分優先の世の中を、このま
まにしておけません。まだかつて
の日本に戻すことができます。気
づいた私たちは、その責任を負つ
ています。

今こそ掃除しかない。掃除の
心は、ずーっと生き続けます。な
くなることはありません。私たち
は、掃除と相談役の心を次世代
に伝えなければなりません。コロ
ナ禍で掃除や日本を美しくする
会が劣えることのないようにな
たいと願つております。一人ひと
りに、熱い心があるかどうかが問
われています。

鍵山先生とご縁を いただいて

福岡県 米村 春美



私は普段は漢方薬のお薬屋さんを営んでおります。2004年、神渡良平先生とのご縁で鍵山秀二郎先生とお会いしました。

「腰がとても痛いので治癒してほしい」とのことでした。先生のお体を見させていただくと、背中が亀甲のように固いと、一瞬で感じ

ました。それ以来、鍵山先生のお手当てをすることになりました。お掃除の会が、例えば熊本や愛知や広島などどこであっても、そのたびに近くのホテルをとり、鍵山先生のお仕事が終わつたあとお手当てをするようになりました。

そのうち私は、鹿児島の鎌田様の会や、荒尾の眞田先生の会など、いろいろな掃除の会にも参加するようになりました。そして、お掃除のありがたさも知るようになりました。

不思議なつながりで掃除に関わりましたので、掃除の真髓はわかりません。けれども、鍵山先生のお体の手当てをしているときに、先生はいつも「お掃除はねえ…」って、いろんな話をしてくださいました。

一番印象に残っているのは、「学校で掃除が終わって出て来たけれど、気になる所があつたからまた戻つたことがあつたんだよ」と話されたことでした。

「気になつた場所をよく見ると、ペットボトルが詰まつていて、それをとつたら勢いよく水が流れました。これをしなきやいけなかつたんですね」と言われました。

私は、鍵山先生のお体を手当させていただきながら、先生が体験された貴重なお話やお掃除のお心をたくさん感じてまいりました。それだけでも充分掃除の世界に入つてていると思います。

こんなにありがたいことはなく、マンツーマンで本当の幸せを知つた気がします。

鍵山秀三郎先生から頂いた 大切なものの

京都府 河野 正治



私は2014年3月、「これから的人生を、子どもたちを笑顔にする教育に捧げたい」と、卒業後

28年勤めた会社を辞め、学習塾を

立ち上げました。その前から掃除はしていましたが、この状況下では、鍵山秀三郎先生がアドバイスを下さいました。

「毎日欠かさず、自宅と塾の間の道のゴミ拾いをするといいですよ」このお言葉を毎日実行して

いて、あるとき気付きました。「塾の周りがキレイになると、この道路を通る小・中学生の心もきれいになる」だろうと。

それ以降、このことを胸にしつかり想いつつゴミ拾いを続けました。すると、温かい声をかけていたり、畠で取れたものだからとお心遣いをいたしたり、近所の方々と心温まる交流が生まれてきました。さらに口コミで広まつたのでしようか、塾に通う生徒さん方も増えてきました。

何のためにゴミ拾いをするのかを気付かせていただきました。今は、自分の手足を使ってゴミ拾いや近所の美化に努めることで、「子どもたちや近所の皆さんのがきれいになる」ことに幸せを感じています。

「鍵山掃除道」は、自分の心も周囲の方々も幸せにし、心温かい循環を創り出していくと思います。鍵山先生とそれを支援される方々のご活動が、世界に広がっていることも素敵なことだと思います。

大海原に身一つで漕ぎ出した私にとって、「鍵山掃除道」の学びは、私の人生の土台となつております。素敵なご縁に感謝です。

(615-8282 京都府京都市西京区松尾大利町98-17
ペガサス松尾夢教室)

掃除に出会つて開けたこと

台灣 戴 啓珩たい けいこう



最初はトイレ磨きにかなり抵抗がありました。日本の仲間が手本を見せてくれて、心の壁を突き破りました。掃除後の明るい環境のおかげで気分が良くなり、人に接する態度も謙虚になりました。

私は経営する旅行会社に掃除道を導入し、振替出勤日などを

使って、社員が毎日長くいる場所を掃除するように導きました。席の掃除や「断捨離」をすると、仕事関係の道具が少なくなり、書類の保管が簡素化され、環境がリフレッシュされ、社内の雰囲気も快適になると実感します。

今年我々もSDGsの検討を始めたのですが、日本を美しくする会の「SDGsの取り組みのリーフレット」を拝見し、大変嬉しく思いました。これは台湾と日本の清掃活動をアップグレードする機会になると信じます。

掃除道とのご縁は、2004年ころ徐重仁創会理事長の要請で、日本の掃除に学ぶ会の皆さんをもてなしたのがきっかけでした。そして今、台湾美化協会第四代理事長を務めています。

台湾では、新型コロナの感染が

適切に制御され、街頭や公園の清掃活動が続けられています。宜蘭、台東、台中の東海大学などは、定期的に活動しています。清掃活動と観光セットの1泊2日の国内「清掃ツアープラン」も推進しています。

後ろ姿

東京都

野田 佳彦
よしひこ



しと伝わってきました。

「掃除の神様」の後ろ姿からも、

大きな薰陶を受けました。

私は1996年の衆院選で僅差で落選し、約4年浪人していたころ掃除道に出会いました。今

も鮮烈な記憶として残っていることがあります。雪の降るとても

寒い日、船橋で開催された「掃除に学ぶ会」、鍵山秀三郎相談役の実践指導もあるということで、たくさん的人が参加した熱気あふれる会でした。

たくさんの言葉を弄さなくても、その举措動作から強烈なメッセージを発信でくる人物が稀にいます。「経営の神様」松下幸之助はそういう人でした。日常の立ち居振る舞いからも、日本の未来を案ずる強い危機感がひしひ

色の中から1つの空缶を拾うと、直ちに車に戻りました。

車に乗り込む一瞬、男性の顔を確認しました。鍵山相談役でした。停車から発車までわずか数秒、私は鳥肌の立つような感動を覚えました。

「ひとつ拾えればひとつだけきれいになる」は、単なるスローガンではありませんでした。「掃除の会」を終え会場から出ていくときも、ゴミを見つければ拾つて去つていく。その自然体の実践現場を、幸運にも目撃することができました。

このエピソードは、「後ろ姿に人格が現れる」という教訓でした。忘れるのできない、決して忘れてはいけない思い出です。

掃除の道は生き方の道

兵庫県

渡邊

雅人



たくわかつていなかつたのです。

いたこともありました。

それ以来、私は毎月のように播磨の会に参加しました。コロナによる突然の中止を知らずに、掃除場所の小学校まで行つたときのことでした。そこには、暗いなか木南さんが立つておられ、中止を伝えてくださいました。いつからいつまで立つておられるのだろうと、思つたものです。

2021年、木南さんの指導を受け姫路の教師仲間でトイレ掃除の会を催すことにしました。

2回目の会で、木南さんは「先

生の指示に従います」と言われました。穏やかながら、「自立せよ」とのメッセージと受け取りました。その後も、近くに住んでいる私が学校の教頭よりも早く来られ、学校周囲のゴミ拾いをされて

2019年末、「播磨掃除に学ぶ会」に初参加したときに、私は木南一志さん(写真左)に講演テーマを聞きました。私は「なんだ、掃除のことだけか」と思いました。

掃除「に」学ぶという意味が、まつ

た。その後も、近くに住んでいる私が学校の教頭よりも早く来られ、学校周囲のゴミ拾いをされて

(670108)兵庫県姫路市野里大日町364

私の人生を変えた 鍵山先生の手紙

滋賀県

北村 遥明



ない部員でしたが、「今ある状況で、何ができるのか」という発想を学び、おかげで、その後薄紙一枚一枚を重ねる努力を続けることができました。

その後異動し、新しい学校に掃除の会の活動を取り入れた矢先のことです。「外部の人を学校に入れてよいのか」「良い活動かもしれないが、もうやめてくれ」と言わされました。今なら、これは私が焦ってやつたせいだと、冷静に振り返ることができます。当時の私は「なぜそんなことを言わなければならないのか」と、相当落ち込みました。

10年以上前、滋賀便教会を発足したときに鍵山先生に来ていただきました。私は野球部の監督をしており、部員とトイレ掃除を行っていました。9人にも満た

して、次のことを教えてくださいました。

「けれども、どんな場所にも自分に任された範囲があります。その中でやれることを続けてください。そうしているうちに、範囲が広がっていきます」

以後、私は毎朝一人で職員トイレの掃除をしました。そうしていると、確かにその範囲は広がっていき、ついにはいくつかの部活動で、トイレ掃除に参加してくれるようになつたのです。

この経験は、「思いを持つてやり続けていくと、周囲に影響を与えることができる」という信念を私に植え付け、その後の仕事や有志勉強会(「近江虹天塾」14年目)への姿勢を支えています。

そんなときに、鍵山先生から手紙をいただきました。「どんな組織にも事情があるのだから、それをまず理解することです」そ